

快調! 98セミナー!!

プロップ・コンピュータセミナー-PHASE2も3月から順調にスケジュールがこなされています。PC-9801コースも軌道にのり、充実してきた今日この頃。今回は、98セミナーの講師ボランティアさん、受講生のみなさんをご紹介します。

☆コンピューターを教えていただけるボランティアさんは、現在も随時募集中ですので、御興味のある方はプロップ・ステーション事務局 (TEL/FAX06-881-0041) までご連絡くださ〜い!
楽しい出合いを待ってます!!

まずは、ボランティアさんからです。。。

1人目

はじめまして。私は「シルバーアロワナ」と申します。河内長野に住んでいます。まだ生まれて2年半ですが、身長70cm、バスト20cm、ウエスト24cm、ヒップ15cmのセクシーな体型です。体重はまだ計ったことはないんです。

さて、今回なぜこんな風にペンを取ったかと申しますと、私が飼っている人間「木地本」が98セミナーにて皆さんの邪魔をしているらしい、という噂を聞いたからなのです。本誌に載せる文を書いてください、という依頼も今日初めて知ったという次第です。(実はメ切をとっくに過ぎている。)

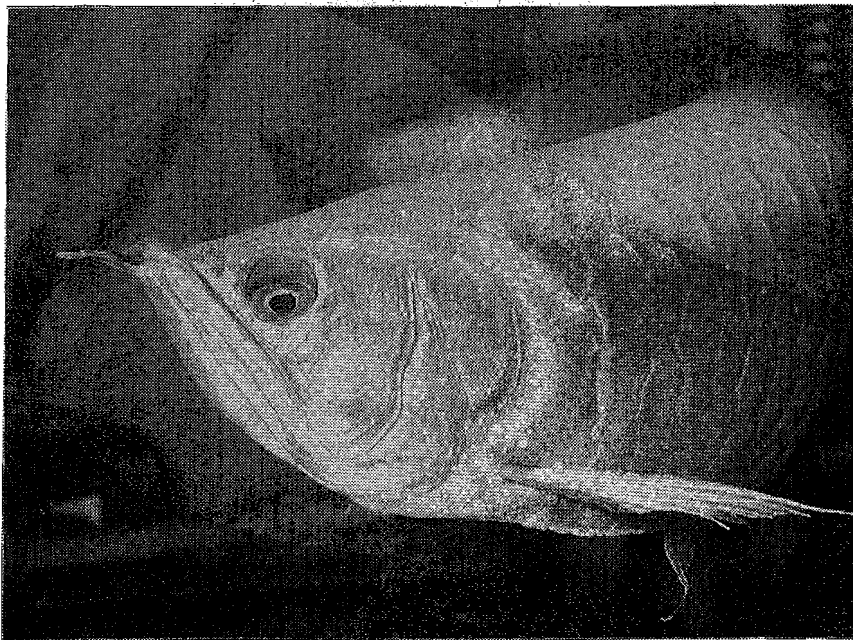
私は「Office DD」という小さな会社を営んでいます。まだ法人化もしていない吹けば飛んでく

ような会社です。「ポリプテルス」や「オキシドラス」など魚の社員はたくさんいますが、「木地本」は唯一の人間の社員です。仕事内容はと申しますと、パソコン導入の支援、導入後の指導・教育などをメインとしております。ただ小さい所なので大手への仕事ではなく、個人や個人商店などがほとんどであります。「木地本」は、熱帯魚雑誌やパソコン雑誌の記事も書いており、最近はそのちらの方が忙しくなってきたようです。またジャストシステム公認インストラクターであり、一太郎のことなどでわからないことがあれば聞いてやってください。彼は不勉強ですからきっとわからないと思いますが、ジャストシステムインストラクターセンターという強力なバックがありますので、少し時間をいただければ回答できるのでは?という感じです。

この98セミナーに参加して皆さんがとても暖かく、障害者の方からも教えていただくことが多くどちらが生徒だかわからん、と彼はつくづく申しています。

まわりの人からは、「きじやん」と呼ばれているようです。「おい、木地本」とか「きじやん」とか呼んで寝てやってください。「お手」「おかわり」「お座り」「お預け」ぐらいのしつけはしています。これからもよろしくお願いします。

*超ユニークな 木地本
昌弥 (きじもと まさや)
氏です



[私、シルバーアロワナです]

^^ 2人目 ^^ (^^)

名前: プチトマトさん (ハンドルネーム)
参加種別: 受講生 & ボランティア

MS-DOSの基本操作からユーティリティのFD、そしてお馴染みの一太郎・花子と無事通過し、いよいよ今月からメイン・メニューのCADに突入しました。MACの初代受講生の一人であった私は、IllustratorやPhotoShopなどコンピュータが導く不思議な世界に毎回毎回目を見張り、不謹慎にも学ぶと言うより、ゲーム感覚の楽しみながらの受講でした。ところが、一転して今度は禅ゾーンに紛れ込んだかのように無駄口ひとつきくでもなし、ただひたすら画面とにらめっこの真剣な面もちの顔・顔・顔……。無理もない、MS-DOSでワイワイガヤガヤ楽しんでいる人がいるとしたら、これは余ほどの天才かはたまた紙一重の方でしょう。とにもかくにも無事にCADコースにたどり着きました。

アプリケーションソフトのDYNA・CADは操作が非常に簡単で判り易く正に初心者にとってつけのソフトだと思います。CADがなんたる物かよく理解出来ていない人でも抵抗なく入っていきそうです。

このコースでは微力ながら私もお手伝いをさせて戴く事になりました。横に座っていますと受講生の方の熱意がひしひしと伝わって来、私自身忘れていた何かを呼び覚ましてくれるようで、決して生半かな知識ではなく本格的にCADの本質を見極めて戴きたいと切に願わずにはおれません。

* 聴力障害をもつプチトマトさん。
プロップネットで、セミナーで大活躍です!

^^ 3人目 ^^ (^^)

名前: 正井 正巳 (まさい まさみ) さん
所属: 大阪ガス

もっともなじみ深い機種である98セミナーが関係スタッフの努力により、又NECさん等のご理解により、開講されたことはほんとによかった。

PRの浸透につれ、又専門コースに入ったこともあって受講者、見学者も増えさらに相談も相次いでおり対応にも熱がこもって、活況を呈してきました。

私自身、障害者の立場を考える良い機会であるし、何よりも障害者の方と知り会えたことはより理解を深めることになった。

雇用に戻りみする企業が多いけれど、障害者用周辺機器の開発も進んできた。能力さえつければ企業に自信を示す良い機会だ。情報網をふるに活して支援活動を展開すれば、理解も深まると思う。

>>セミナーの運営についての提言<<

まだスタートして間もないので未熟な面も多いが、職業的自立をめざす障害者にとって1回/週2時間程度のセミナーではたしてマスターできるだろうかと思う。専門コースにいくほど基礎の積み重ねが大切だと思う。そこで、

1. 月に1回くらいは休日を利用したセミナーを、半日程度かけてできないものか
[場所の確保が困難かも知れないけど]
2. セミナーのステップ毎のフォローが大切
[知らないまま進むことのないように]
3. 1回/週のセミナーを補充するものとしてパソコン通信 (PROPNET) による補助教育システムの構築の取り組み
受講生のみなさん、頑張ってください。



* ネットでは「せんぼくろまん」さん。
発送作業なども手伝って下さる温厚で、日頃は無口なおじ様

<<98セミナーの様子>>

この辺で受講生の方の紹介です

受講生 1人目 *_*

名前: 岩宮 誠 (いわみや まこと) さん

勤務先: ワープロハウス

パソコン歴: 8年 (といっても、もっぱら「98」にワープロソフトを入れて触っていただけ)

プロップのセミナーにお世話になり始めたのは、かの有名(?)な「京愛」(歯の浮くような芸名ですネ)さんが私の幼なじみで、彼から「お前もワープロの仕事してるなら、ちょっとは勉強してきたら?」、「そやなあ」という会話がきっかけでした。パソコン歴8年と言っても、「MS-DOS」の「M」が辛うじてわかる程度でした。

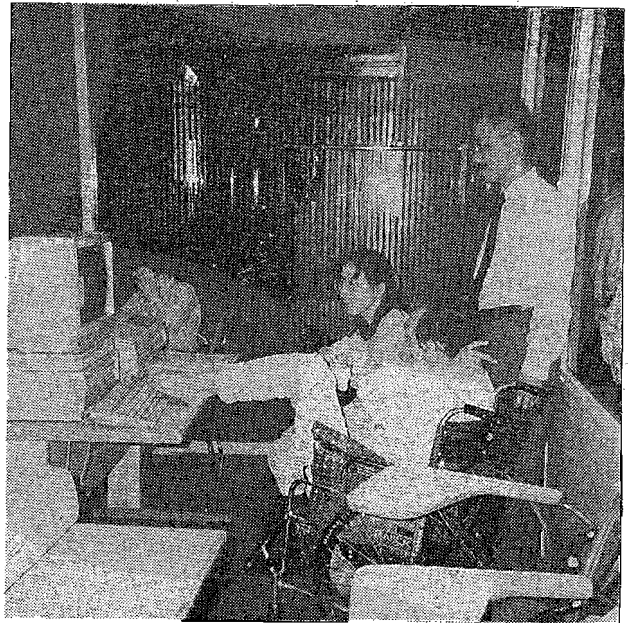
仕事からデータベースの概念などを学べたらと思ひ、ついでに触るのももったいないと思っていた「マウス」なるものにも対面したいと思っておりました。「マウス」=「CAD」などと思っていた私には良い勉強になりそうです。

このセミナーを受けたからと言って、すぐに就労できるなどとは、どなたも思っておられないと思いますが、こういった「OA関係」は身体にハンディのある私たちにとって、社会参加できる可能性のある分野であることは疑いのないところだと思います。

たとえ専門的な技術は身に付けられなくても、ボランティアの方々と出会い、そこからいろいろなコミュニケーションの輪が広がり、またボランティアの方々にも私たちのことを知って理解して戴ければ、このセミナーはその役目を果たしたと言ってもよいのではないのでしょうか?

セミナーの更なる充実と発展をお祈りすると共に、履修終了後も何等かの形でお手伝いできることがあればと思っている次第です。

*礼儀正しく、その正しさが「彼女」のできない原因では!? ジョークもいける、愉快的な岩宮さん。



受講生 2人目 *_* (#_#)

名前: 木野内 孝史 (きのうち たかし) さん

勤務先: ワープロハウス

感想: 初めて、セミナーに参加するようになって、今まで詳しくわからなかったパソコンのことが少しずつ分かるようになりました。説明もわかりやすくとてもいいです。

最初は、文字の打ち方や一太郎のシステムのコピーを何回も失敗しましたが、今では上手にできるようになりました。

まだまだ組み込みの方法など、いろいろ勉強することがたくさんありますが、がんばっていきます。これから、他のソフトも勉強して、将来何かの役に立てるようにがんばります。

*介助の方と通っておられるC.P.の青年です。

【PC-9801コース 7,8月の予定】

見学随時受付中! (日程など変更になる事があります。

予め、電話でご確認ください)

- 開催日; 毎週金曜日 PM 6:30~PM 8:45 (但し、PM 6:00から準備)
- 場 所; NEC関西支社2Fセミナー室

日	セミナーの内容
7月 9日(金)	3D-CG講習(DYNA PERS 1/8)
7月16日(金)	3D-CG講習(DYNA PERS 2/8)
7月23日(金)	3D-CG講習(DYNA PERS 3/8)
7月30日(金)	3D-CG講習(DYNA PERS 4/8)
8月 6日(金)	3D-CG講習(DYNA PERS 5/8)
8月13日(金)	3D-CG講習(DYNA PERS 6/8)
8月20日(金)	3D-CG講習(DYNA PERS 7/8)
8月27日(金)	3D-CG講習(DYNA PERS 8/8)



受講生 3人目 * _ * (#_#) * _ *

名前: 寺本 久美子 (てらもと くみこ) さん

私がプロップ・ステーションを知ったのは、主人(後述の和央さん!)のつけた新聞記事からでした。新聞記事の写真の中に知人の顔を見つけ、すぐに電話をしていろいろセミナーの説明を聞きました。

夫婦2人ともパソコンを習ってみたいと思っていたときにその記事を見て、ますます「習いたい」という気持ちが強くなっていきました。

早速、プロップへ電話をかけ、「主婦でもいいですか?」と聞いたところ、これはOK!ということだったので、「定員オーバーで9月からになります」とのお返事でした。

しばらくして、「1人来られなくなったので、どうですか?」という連絡を受けたときには、うれしくって、うれしくって……。

いざ、参加してみると、私が考えていた以上に初めてづくしのことばかり。内容もむずかしいし、なかなか思うように手も頭もついていかない。でも、ボランティアの人たちの熱意を感じ、「こんなことぐらいでは負けられない!」とガンバッテいます。

私がガンバッテているのを見てか、主人も早くしたかったのか、一度見学に来たのがきっかけで、今では二人揃って受講生としてお世話になっています。不安はありますが、最後までガンバローと思っていますので、よろしくお祈りします!

* * * * *

* 久美子さんは明朗快活。和央さんは温和そのもの。おふたりともC.P.で、和央さんは、車椅子を使用されています。毎回、タクシーで通って来られるお似合いのカップルです!

受講生 4人目 * _ * (#_#) * _ * (#_#)

名前: 寺本 和央 (てらもと かずお) さん

オフコン(オフィス・コンピュータ)は、10年やっているが、パソコンは初めてなので、不安があったが、「なんとかなるやろう」と思い、セミナーを見学に行った。

受講生の中に知った顔もちらほら居た。見学に行った日からいきなりパソコンの前に座ってキーボードの操作! 見学のつもりが、幸か不幸か、自分がパソコンに触った。前々からパソコンをやりたいと思っていたところであり、実際に触れてみて「これならやっていけるなあ」と思った。

家内の方が先に受講して、私は9月からの予定だったのに、「ご夫婦でどうぞ」と誘われて、「ラッキー!」。幸い6月から会社もパソコンを導入するので、よい時期に受講してよかったと思っている。

横についてくれるインストラクターの人々は毎回変わられ、教え方もさまざま。丁寧にゆっくり教えてくれる人、自分自身でやってしまわれる人(手が速くてついていけない)等いろいろ居て実におもしろい。

パソコンを始めて、パソコンの奥の深さに驚いている。

パソコンをマスターして、将来は製図ができれば、と思っています。もし、会社を辞めることがあっても、コンピュータの仕事をやりたい。パソコンを今から(年齢的に遅いかなあ?)習っておけば何か役に立つのではないかとと思っている。

これからの受講は、だんだんむずかしくなると聞いているので、ついていけるかちょっと不安があるが、セミナー終了まで頑張りたいと思いますので、よろしくお祈りします。



受講生 5人目 *_(#_#)*_(#_#)*_*

名前: 向坂 恭子 (こうさか きょうこ) さん

今回のセミナーを受講して本当によかったと思います。

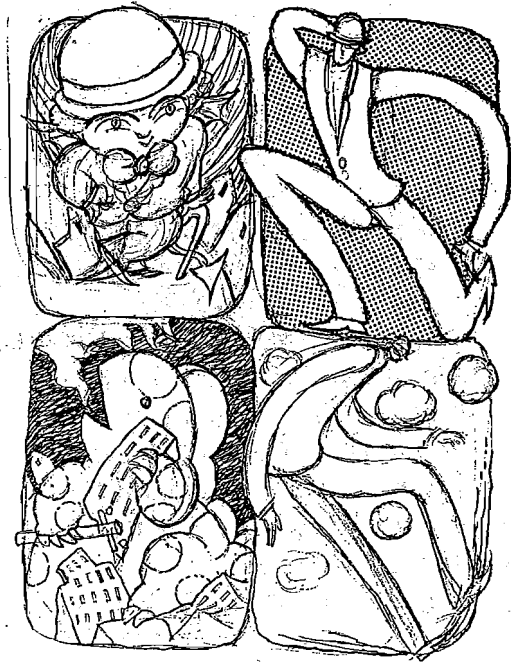
というのは、私は昨年末から仕事上のことや職場の人間関係のことで悩んでおり、ちょうどそんな時にプロップのことを知り、さっそく応募しました。そしてみなさんと巡り会えたことが私を勇気づけ、ともすればやる気をなくしそうになっていた私に、再び希望がわいてきました。

本当は、マックの方を受講したかったのですが(欲張りにも両方を受講したいと申し込んだのです)、すでに定員いっぱいとの連絡を受け、98のコースに入りました。

みんなとても親切に指導して下さるし、先生の方が人数が多いという、こんな贅沢なセミナーはないと思います。おまけに受講料もいららないなんて、なんとありがたいことでしょうか。みなさん方が神様のように見えてきます(ボランティア教会?)。そして、受講生はみんな重い障害をもっているながら、一生懸命がんばって生きている人たちばかりです。私は、自分が障害者でありながら、最近までこういう障害者の方々の中に入ったことがないのです。だから最初、足でコンピュータを操作する方を見て驚きましたが、不自由な手足でも結構コンピュータは扱えるものだということがわかりました。

私のコンピュータ歴は、もう7,8年でしょうか。でも、主にワープロとしてしか使っていません。今でこそ、こんなにコンピュータが出回っていますが、私が障害者になった当時(24年余り前)はワープロも何もありませんでした。もし、あの当時からコンピュータがあつたら、私の人生はもっと変わっていたかもしれません。というのはコンピュータが大好きだし、そのころから勉強していればまだ若かったから、もっと他の仕事に就けたかもしれない。しゃべれなくても、聞こえなくても、ワープロ、ファックス、パソコン通信があるし、キーボードが打てなくてもトラックボールやマウスもある。そういう点でコンピュータというのはまさに障害者のために開発されたものといえるのではないのでしょうか。だから、これを利用して就労に結び付けようとするのは何よりも妥当な考えだと思います。

セミナーが全部終わっても、私はOBとしてずっと参加していきたいし、次回ではできればMacの方を受講したいと思っています。そして自分がお世話になるばかりでなく、何かお役にたてる人間になりたいと思います。



再び、ボランティアさんの紹介です。。。

4人目 *_(#_#)*_(#_#)*_*

氏名: 国本 晃代 (くにもと まさよ) さん

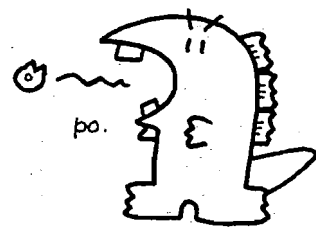
勤務先: (株)ダイナウェア

障害者のみなさんには、キーコマンドの使用を勧めた方がいいように思います。セミナーは少し、空き時間が多いような気がしましたが、受講生の方にはちょうどよいスピードなんでしょうか?

ダイナウェアの社員は、みんな忙しくて用意(サンプル図面、保存用フロッピー、プロテクト、キーコマンドの一覧表コピーなどなど)が十分にできてなくて申し訳ありません。

最後まで、みなさんいっしょにがんばりましょう!

*セミナーの後、受講生の誰かれを車で駅まで送って下さる、やさしいお嬢さん!



5人目

氏名：虎松 宏和（とらまつ ひろかず）さん
 勤務先：(株)ダイナウェア
 肩書：建築家 兼 探検家

その1・CAD講師として・・・

いきなり「講師をやらないか」と言われて早1ヶ月。勉強する方も初めてなら、教える方も初めてです。「まず、何を教えたなら良いんやろ」から始まり、「建築の図面なんか、見てもらってもわかるんやろか」まで、講師するのもチンプンカンプンです。

最初は「こんな半信半疑な気持ちでは無理や」と思い、「でも一度見に来てください」と言われてセミナー会場を覗きに行ったのが運のつき。その数時間後には“CADの先生誕生”とあいなりました。

私のCADとのつき合いは、かれこれ5年位になります。まだ32ビット機が夢の彼方で、16ビット主流の時代。スピードもとろくて、日影計算なんかは夜（11時頃）事務所を出る時、Return Key を押し、翌朝出勤するとなんとか終わっていたというようなことがよくありました(^_^;)。これで、エラーでも出れば、泣くに泣けません・・・。

そしてバブル時代を迎え、CADは現場、積算部門からどんどん業界に広がっていきました。しかし、設計者という者は結構頭が硬くて、なかなかドラフター（図面を手で描くための道具）がキーボードとかマウスに変わってくれません。特に意匠設計する者にとって、長年慣れ親しんだトレベ（トレーシングペーパー）の上でのデザイン作業

をスクリーンの上でするような頭の切り替えには、まだしばらく時間がかかりそうです。

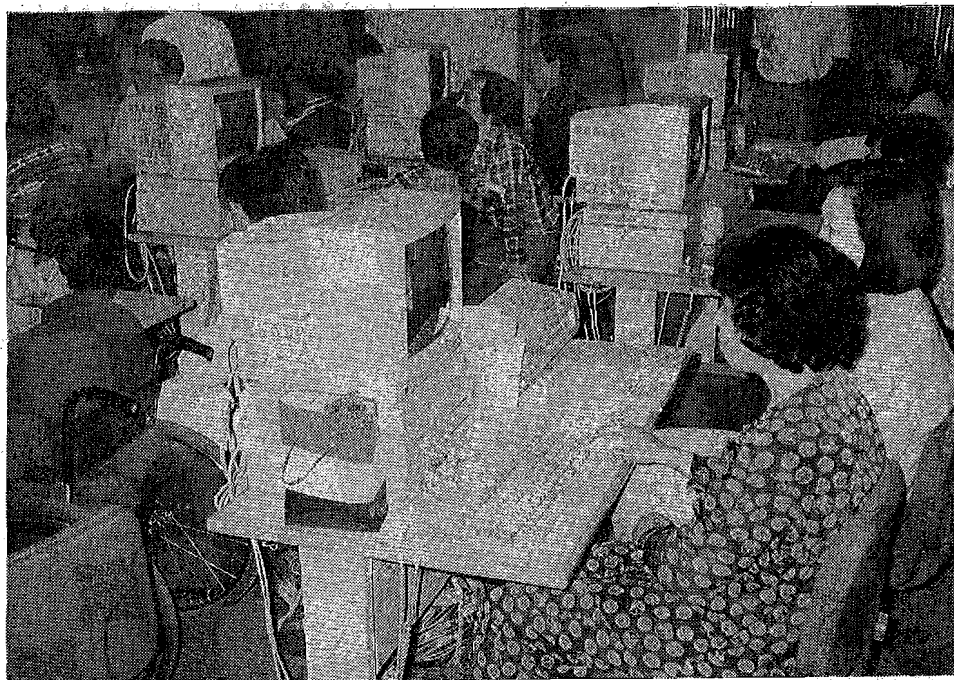
CADが使えるようになる、ということは単にソフトの機能が使えるだけでなく、建築、機械、電気それぞれの分野の知識も必要です。そういう意味では、決して楽なセミナーではないと思いますが、逆にこれを機にそれぞれの分野に対して興味を広げてもらって、ただCADで図面を描くという世界だけに留まらず、勉強を続けてもらえれば、CADの知識をもっと生活に活かしていけるのではないのでしょうか。

その2・探検家として・・・中国の話

どうも、この日本社会にいと探検家というのは少数民族で、その肩書だけがやけに一人歩きしてしまう。今の会社に入る前に「どうやら今度、探検家とかいう奴が来るらしい」とのウワサが流れ、まるで当初は怪獣か恐竜のような扱いでした。（確かにそれに近いものではあります・・・）

年に1回とは言わなくても、2～3年に1度くらいは（行きたい人は）探検とか長期ボランティアなんかに参加できるようになり、社会もそういった事を認知してくれば、こんな事もなくなると思いますが。（しかし、そうなるとマスコミもいちいち取り上げてくれなくなって、寄付集めに苦勞するな!）

ところで、中国へ6ヶ月ほど行ってきた訳ですが、何をやってたのかと言いますと、中国の一番奥に位置する「タクラマカン砂漠」という所を、ラクダのキャラバンを引き連れて横断してきたのです。



ラクダ40頭ほどに食料（人間とラクダの分）と水、そして装備を積み込んで40日、1,000kmほどを歩いてきました。当初は3ヶ月3,000kmを歩く予定だったんですが、予算の関係で1/3にカットということになってしまいました。それでも砂漠の自然の厳しさには変わりはありませんでしたが・・・。

別のグループは、砂漠の周りのオアシスの街々を訪ねて、小中学校や舞踏団なんかと国際交流を深めてきました。この街には、これほど大規模な外国人の交流団が入るのは初めてのことで、それこそ恐竜が現れたところではない程の大騒ぎでした。

私は招待所（ホテルですが風呂はなく、トイレも離れになっていた）を出て、よくバザール（市場）に遊びに行きました。このバザールは食料だけでなく、ラクダや馬まで揃います。食料は日本のように1つずつバックに入っているなんてのは全く無く、肉は塊で店先に吊り下げてあり、羊や鳥

は生きたまま売っています。そして、買った羊を連れて帰り、家でさばいて料理するのです。また、肉まん屋やラーメン（日本のうどんに、トマトソースをかけたようなもの）屋、そして串ざしにした羊の肉を炭火で焼いたシシカバブー屋が大繁盛していました。

日本では、タクラマカン砂漠というと、人も寄り付かぬ不毛の大地、と思われがちですが、こんな所に遥かシルクロードの頃よりの文化があり、営みがあります。

自然が美しく厳しいだけに、人と人の出会いがより温かく感じられた中国の旅でした。

*CADと探検。不思議な、でも何か魅力を感じる組み合わせですネ。

今回のセミナー報告はいかがでしたか？まだまだ紹介したいのですが、、また今度です。お楽しみに！！

プロップコンピュータセミナー 受講生大募集！

セミナー内容；Macintoshセミナー

PC-9801セミナー

各セミナーの詳細な内容はFLANKERの前号をご参照ください。

スケジュール；1993年9月～1994年2月

Macintoshセミナーは毎週水曜日（ボランティア協会、グランドビル）

PC-9801セミナーは毎週金曜日（NEC関西支社）

（なお、上記は都合により変更することがあります）

受講資格；就業を目指す方で、何等かの障害がある方。

受講料；テキスト代、会場レンタル代等の実費を負担していただきます。

連絡先；受講希望者はプロップ・ステーション事務局までご連絡ください。

【Macintoshコース】

見学随時受付中！（日程など変更になる事があります。予め、電話でご確認ください）

●開催日；毎週水曜日 PM 6:30～PM 8:45（ただし、PM 6:00から準備）

●場 所；千里情報事業財団 阪急グランドビル15F（原則第2、4水曜日）

大阪ボランティア協会 4Fセミナー室（原則上記以外の水曜日）

日	場所	セミナーの内容	
7月 7日(水)	ボラ協	DTP講習d (QuarkXpress 1/4)	プログラミング講習c (ThinkC 1/8)
7月14日(水)	グランドビル	DTP講習b (PhotoShop 1/4)	プログラミング講習c (ThinkC 2/8)
7月21日(水)	ボラ協	DTP講習d (QuarkXpress 2/4)	プログラミング講習c (ThinkC 3/8)
7月28日(水)	グランドビル	DTP講習b (PhotoShop 2/4)	プログラミング講習c (ThinkC 4/8)
8月 4日(水)	ボラ協	DTP講習d (QuarkXpress 3/4)	プログラミング講習c (ThinkC 5/8)
8月11日(水)	グランドビル	DTP講習b (PhotoShop 3/4)	プログラミング講習c (ThinkC 6/8)
8月18日(水)	ボラ協	DTP講習d (QuarkXpress 4/4)	プログラミング講習c (ThinkC 7/8)
8月25日(水)	グランドビル	DTP講習b (PhotoShop 4/4)	プログラミング講習c (ThinkC 8/8)

9月、10月は、Phase3の初心者コース及びPhase2の作品制作を同時並行で行う

グランドビルの予定；9/8(水)、9/20(月)、10/12(火)、10/27(水)